

2023年度 高校と地域の連携強化戦略会議の進め方について

1 事業概要

2022年度に5回の会議を開催し、両高校の現状の把握、中学校3年生の進路選択のアンケートを実施し、取り組みの方向性を短期的なものとして「2024年度入学者の定員確保」、中長期的なものとして、「地域と連携した学びを通じた、将来、市に貢献しようとする人材の育成」と定めた。

2023年度は、短期的、中長期的な高校や市、市教委の取り組みに対して提案や助言などを行い、2024年度入学者の定員確保、地域と連携した人材育成事業の基礎をつくる。

2 取組の内容

◎短期的なもの

2024年度入学者の定員確保に向け、両高校でそれぞれ行われるオープンスクールをターゲットに置いた取組を行う。

(1) オープンスクールの充実

【実施主体】吉田高校、向原高校

- ・各高校で実施するオープンスクールを魅力的なものにする。

(2) 「変わる向原高校」

【実施主体】向原高校

- ・向原に行かないと学べない、向原高校だからこういうことができる、というような特色を打ち出す。
- ・それにより他の高校との差異化を図り、7月までの間に情報を流して、中学生に伝える。

(3) 情報発信

【実施主体】吉田高校、向原高校

- ・オープンスクールに向けた情報を発信する。
- ・Twitter、Instagram等SNSによる情報を発信する。
- ・各高校で何を学ぶことができるのかを、中学生とその保護者が見る媒体でPRする。

(4) 中高連携として高校と中学校（市教委）で取組を具体化

【実施主体】市教育委員会、吉田高校、向原高校

- ・両校のオープンスクールに多くの生徒の参加を促す取組を検討する。
- ・両高校へ行ったことがない教師が増えたため、生徒と一緒に高校へ行く機会を設ける。
- ・中学校3年生の高校見学の機会を、複数回、設ける。
- ・中高で一緒に何か学ぶ機会、学校行事を行う。また、高校生が指導する機会を設ける。
- ・部活を中高合同で行う機会を設ける。

(5) 市外からの生徒の確保

【実施主体】吉田高校、向原高校

- ・市内の中学3年生が約200人、両高校の募集人員が200人とほぼ同数。
- ・市外に進学するのをいかに少なくするだけでなく、市外から受け入れる取組みが必要である。

◎中長期的なもの

毎年、成果を評価し、3年後にそれぞれの到達度を測る。

(1) 学力向上

【実施主体】市、吉田高校、向原高校

- ・スタディサプリを導入する。
- ・吉田高校は3年連続で国公立に入学する生徒数が2桁で、5年、10年と、この数字を落とさないことに取り組む。

(2) 高校生自身が高校の魅力化を検討

【実施主体】吉田高校、向原高校

- ・高校生が高校の魅力化を図るために何ができるかを考える。
- ・生徒が発案した取組みの具体化に高校応援プロジェクト補助金を活用する。

(3) 学校が希望する地域連携の学びのサポート

【実施主体】市、吉田高校、向原高校

- ・市で、アクションを起こしている人、社会的な課題に直面している活動、高校生が関わられる場所など、リストにまとめる。
- ・地域の関わりは、学校側からのニーズにこたえられるようなサポート活動にする。

3 スケジュール

◎短期的なもの

取組内容	4月－6月	7月－9月	10月－12月	1月－3月
(1) オープンスクール	6/17 吉田 オープンスクール ←→	9/2 吉田 オープンスクール ←→		
(2) 変わる向原高校	高校での 方針決定 ←→	8/2 9月中旬 向原 オープンスクール ←→ ←→		
(3) 情報発信	オープンス クールPR ←→			
(4) 中高連携	高校、中学校 校長打ち合わせ設定 ←→		高校進路決定まで 連携取組を協議	←→

(5) 市外からの生徒の 確保	オープンス クールPR ↔			
-----------------------	---------------------	--	--	--

◎中長期的なもの

項目	本年度協議する内容	3年後の到達点
(1) 学力向上	・スタディサプリの効果的な利用	・学力向上 ・国公立大学への合格者 2 桁確保
(2) 高校生が魅力化を検討	・生徒が高校の魅力づくり、特徴ある学校づくりを協議 ・高校応援プロジェクト補助金の生徒枠の検討	・生徒発案の取組が具体化 ・生徒の自主性が芽生え
(3) 学校が希望する地域連携の学びのサポート	・市がリストを作成 ・学校がやりたいことを効果的にサポートの具体化	・高校生が主役の視点による取組を地域の人に関わることによって、魅力が増すものになる

4 2023 年度 戦略会議の開催計画

回	開催日	協議内容
1 回	6 月 8 日	・短期、中長期の区分の確認 ・短期で取り組むことの意見交換 ・高校生アンケートの実施
2 回	7 月 5 日	・高校生アンケートの結果報告 ・短期の取組のフォロー ・短期 T o d o の確認
3 回	8 月 4 日	・短期の取組のフォロー ・中長期の状況の確認
4 回	12 月	・短期の成果見込み ・中長期の方向の検討 ・中学校 3 年生のアンケート調査の実施 (3 月上旬)
5 回	3 月	・中学校 3 年生アンケートの結果報告 ・次年度以降の取組の確認 (計画への取りまとめ)